

平成24年度決算に係る

定期監査調書

平成25年4月

中部教育局

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	2頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	9頁
8	収入事務処理状況調べ	9頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	10頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	11頁
11	不納欠損額調べ	11頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	11頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	11頁
14	財産に関する調べ	11頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	12頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12頁
20	備品の処分状況調べ	13頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13頁
22	小中学校等への支援の状況調べ	14頁
○	意見・要望等	14頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1)指摘事項

該当なし

(2)監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
鳥取県教育委員会 事務局中部教育局	学事係	<ul style="list-style-type: none"> ・公印の管守に関する事 ・管内小中学校管理の指導、人事及び給与に関する事 ・児童生徒数・学級編成及び教職員定数に関する事 ・教育表彰に関する事 ・臨時的任用職員の発令に関する事 ・非常勤講師の任免・報酬の支払に関する事 ・叙位・叙勲に関する事 ・局予算の執行に関する事
	学校教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・市町立学校の学校運営、教育課程、学習指導及び生徒指導に関する事 ・関係各課、市町教育委員会との連絡に関する事 ・市町立学校の教科用図書及び教材の取扱いに関する事 ・学習障がい等特別な教育支援を必要とする児童生徒の教育指導に関する事 ・幼児教育に関する事 ・管内教職員の研修、研修派遣及び研究指定に関する事 ・人権教育に関する事 ・教育相談に関する事
	社会教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習及び社会教育に関する事 ・社会体育に関する事 ・社会教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関する事

4 職員の定員、現員調べ

(平成25年4月1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	
	定員	12	12	1	1			13	13	
	現員	()	()	()	()	()	()	()	()	
		12	12	1	1			13	13	
	過不足(Δ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	臨時職員							0	0	
	非常勤職員	1	0					1	0	

5 役付職員の調べ

(平成25年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
局長	永田彰寿	1	0	中部総合事務所 参事監
次長	近藤健	2	0	出納員

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>教育局運営費 (市町との協働による教育力の向上)</p> <p>決算(見込)額 5,666千円 (財源内訳) 一般財源 5,666千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 教育力向上のため、中部地区の市町と県が協働して取り組む体制づくり、課題解決していく関係づくりを推進し、学校教育及び生涯学習・社会教育の振興・充実を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【学校教育】</p> <p>○少人数学級を生かす授業改革・新学習指導要領への対応のため、市町教育委員会と協働して「学力向上」に向けた取組を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要請訪問…情報を市町教育委員会と共有し、学校を支援した。 ・計画訪問…市町教育委員会の計画訪問に同行し、指導助言を行った。 ・校内研究推進の体制づくり等について、校長会で情報提供した内容を市町教育委員会にも連絡し、協働して学校を支援できるようにした。 ・中部版スクラム教育【詳細は5頁】 ・中部地区指導主事連絡協議会を年4回開催し、連携を密にした。 ・市町教育委員会が主催する研修会の企画・運営を支援した。(倉吉市各主任研修会、湯梨浜町各種研修会、琴浦町学力向上研修会、三朝町教育研修会等) <p>○不登校・問題行動の未然防止に向けた取組を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町教育委員会の生徒指導に係る学校訪問に同行し、学校を支援した。 (「22 小中学校等への支援状況の調べ」参照) ・スクールカウンセラー、子どもと親の相談員を配置し、不登校・問題行動の未然防止を進めた。 <p>○特別支援教育の充実に向けた体制の整備に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学指導のあり方について指導・支援を行った。 ・市町教育委員会主催の研修会への協力、参画を行った。 ・個別の指導計画・教育支援計画の作成と活用について助言した。 <p>【生涯学習・社会教育】</p> <p>○市町教育委員会担当者と協働で担当者会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育担当者会(年8回)、人権・同和教育担当者会(年4回)、社会体育担当者会(年4回)を開催し、市町が抱える課題の解決、職員の資質向上に向けた研修、実技、情報交換を行った。 <p>○市町教育委員会に同行して公民館訪問を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校統合に伴う地域課題の洗い出しをテーマに琴浦町の地区公民館を訪問した。 ・地区公民館のあり方をテーマに倉吉市の公民館を訪問した。 <p>○広報紙、チラシを活用した情報共有を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙を毎月作成し、中部地区の生涯学習、社会教育の取組を情報発信した。 ・市町、社会教育団体等からチラシを提供していただき、メールで配信したり、総合事務所電子掲示板に掲載するなど、情報発信に努めた。

イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

【学校教育】

- ・毎月作成する校長会資料「確かな学力の向上をめざして」を市町教育委員会にも送付し、情報提供を行った。
- ・中部地区指導主事連絡協議会の内容の充実を図り、学力向上や学校課題の解決に向けた情報交換、情報共有に努めた。

【生涯学習・社会教育】

- ・教育局が主となって運営していた社会教育担当者会、人権・同和教育担当者会、社会体育担当者会の運営方法を見直し、市町教育委員会の担当者が主体的に関わるようにした。

ウ 成果

【学校教育】

- ・「中部版スクラム教育」事業の推進を通して、小中9年間を見通した学力向上の取組の必要性について各学校に伝えることができた。
- ・市町教育委員会と連携し、不登校・問題行動の未然防止、特別支援教育の充実に向けた取組を推進することができた。

【生涯学習・社会教育】

- ・担当者会や公民館訪問の実施により、課題解決に向けた検討等を行うことができた。

エ 課題

【学校教育】

- ・市町教育委員会と連携して学力検査等の結果活用を一層進め、確かな学力の向上を図る必要がある。
- ・特別支援学級の教育課程を適切に編成するため、地教委と連携した指導・支援が必要である。
- ・不登校の出現率が高い学校に対しては、地教委と連携し、具体的な指導・支援をしていく必要がある。

【生涯学習・社会教育】

- ・市町の担当者が主体性を持って担当者会を運営していくことができるようにするため、担当同士の横のつながりを促進していく必要がある。

事業名	概要
<p>教育局運営費 (中部版スクラム教育)</p> <p>決算(見込)額 5,666千円 (財源内訳) 一般財源 5,666千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 中部地区でチームをつくり、平成23年度までの「育ちと学びのサポートユニット事業」をより一層充実させ、各学校での学級経営の充実、特色ある研究推進を進め、確かな学力の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○中部地区教育長と中部教育局の語る会(4/20) ・事業内容の説明および今年度の取組について協議</p> <p>○第1回中部地区指導主事連絡協議会(4/25) ・今年度の取組について地教委の意見を持ち寄り、具体的に協議</p> <p>○中部版スクラム教育連絡協議会(5/31) (各市町教育長、指導主事、小中校長会代表、高校教育企画室長) ・今年度の事業計画について提案、協議</p> <p>○学級集団づくりに関する研修会(6/22) 北条農村環境改善センター ・講義、演習 (中部地区小中学校学級担任、学年主任、教務主任参加) 講義演題 「Q-U等調査結果の活用と学級集団づくりについて」 演習テーマ 「学級集団の見とり方と具体的な支援策のあり方」 講師 奈良教育大学大学院 粕谷 貴志 准教授</p> <p>○学力向上に関する研修会(6/26) 倉吉交流プラザ ・実践発表、提案 (小中学校管理職参加) 実践発表 「学力向上につながる学習指導と学力分析、研究推進体制について」 発表者 倉吉市立東中学校 美坂 靖子 教諭 提案 「中部地区全体の学力の傾向と対策について」 提案者 中部教育局指導主事</p> <p>○第2回中部地区指導主事連絡協議会(8/28) ・各市町における学力向上の取組について情報交換 ・事業の進捗状況と今後の方向性について協議</p> <p>○第3回中部地区指導主事連絡協議会(12/25) ・学力向上に係る取組について情報交換 ・事業の進捗状況と今後の方向性について協議</p> <p>○取組に当たって留意した点 ・市町教育委員会や校長会と連携を図りながら、学力向上に係る事業を進めた。 ・学校の具体的な事例を持ち寄り、良い事例を中部地区で共有できるように努めた。</p> <p>今後の予定</p> <p>○第4回中部地区指導主事連絡協議会、第2回中部版スクラム教育連絡協議会 開催時期:3月上旬 内 容:本年度の事業評価と来年度の事業について協議</p>

イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・昨年まで取り組んだ「育ちと学びのサポートユニット事業」の成果を生かすように配慮した。

ウ 成果

- ・市町教育委員会との連携が一層進んだ。
- ・研修会の開催、校長会連絡など啓発に努め、学校における学力検査、Q-U検査等の結果活用が進んできた。
- ・中学校区ごとの小中連携が進みつつある。

- ◆教員の研修 … 小中合同研修会、合同授業研究会、小中教員のTT、先進校視察など
- ◆教材の作成 … 春休み中の自主学習教材の作成(小6児童が入学後中学校へ提出)
- ◆系統性を考慮した指導方法 … 家庭学習の方法、学習規律について小中で検討し指導

エ 課題

- ・中部版スクラム教育について一層の啓発を進め、現場の小中学校の教職員へも取組を周知していきたい。
- ・各種学力検査等の結果を分析し、必要な手立てを講じる取組は進んできたが、その手立てを検証する必要がある。各学校へさらなる啓発を行いたい。
- ・各種検査の活用、小中連携について、中学校区を取組に差が見られる。地教委との連携により、中部全体での取組にしていきたい。

事業名	概要
<p>教育局運営費 (学校・地域との協働による教育力の向上)</p> <p>決算(見込)額 5,666千円 (財源内訳) 一般財源 5,666千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 教育力向上のため、学校・地域と県が協働して取り組む体制づくり、課題解決していく関係づくりを推進し、学校教育及び生涯学習・社会教育の振興・充実を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【学校教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少人数学級を生かす授業改革・新学習指導要領への対応のため、学校の要請に応じて「学力向上」に向けた取組を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・要請訪問…小学校30校、中学校12校へ各2回以上計画的に訪問した。 (事前研究会や研究主任との打合せも含める) ・こども園、幼稚園、保育所の要請に応じて訪問を行った。 ・毎月開催される校長会で校内研究推進、特別支援教育の体制づくりについて情報提供や指導助言を行った。 ・中部版スクラム教育【詳細は5頁】 ○不登校・問題行動の未然防止に向けた取組を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・市町教育委員会の生徒指導に係る学校訪問に同行し、支援・助言を行った。 (「22 小中学校等への支援状況の調べ」参照) ・スクールカウンセラー、子どもと親の相談員の活用を進めた。 ○特別支援教育の充実に向けた体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的、継続的な巡回相談等による支援を行った。 ・特別支援学級における学級経営の充実と年間指導計画の作成について助言した。 ・個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成と活用について助言した。 <p>【生涯学習・社会教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育委員会が推進する「心とからだいきいきキャンペーン」の普及啓発を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育局が作成したオリジナルキャラクターとまんがを使い、心とからだいきいきキャンペーンの6本柱を紹介した。 ・キャンペーンポスターの中部版を作成し、幼稚園、保育所、こども園、小学校、中学校に配布した。 ○社会教育団体の活動を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県PTA協議会が主催するPTA指導者研修会の運営について助言したり、分科会の講師を務めた。 ・東伯郡小学校PTA連合会が主催する運営研究会、人権教育研修大会で助言を行った。 ・倉吉市公民館連合会が主催する公民館研究大会で助言を行った。 ・「子育て親育ちプログラム」を使った研修会等にファシリテータとして参加した。

イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

【学校教育】

- ・授業研究会の充実のために作成した「めざす授業の姿」「校内授業研究チェックシート」を活用しやすいものに見直した。要請訪問等で活用している。
- ・毎月作成する校長会資料「確かな学力の向上をめざして」の内容を見直し、充実を図った。各学校に送信するとともにホームページにも掲載した。
- ・全国学力・学習状況調査結果の活用を図る研修を計画し、学校に働きかけた。

【生涯学習・社会教育】

- ・心とからだいきいきキャンペーンの広報に、中部教育局のオリジナルキャラクターとまんがを作成し、子どもたちにも親しみやすく、わかりやすくなるよう工夫した。
- ・平成23年度に作成された「子育て親育ちプログラム」の普及啓発に努めた。

ウ 成果

【学校教育】

- ・各学校の課題を把握し指導・助言を行うことで、各学校の課題解決の取組を支援することができた。
- ・特に中学校において要請訪問が多くなり、新学習指導要領の趣旨を生かした授業づくりの研究や協同的な研究体制づくりが進んできた。
- ・「中部版スクラム教育」事業の推進を通して、小中9年間を見通した学力向上の取組の必要性について各学校に伝えることができた。
- ・特別支援教育における計画的・継続的な巡回相談により、校内体制の整備や個別の指導計画及び個別の教育支援計画の継続的活用が推進された。

【生涯学習・社会教育】

- ・「子育て親育ちプログラム」を使用した研修会が拡がりつつある。
(全県 42件、中部 10件)

エ 課題

- ・各学校における研究推進体制は整ってきているが、さらに小中連携を進め、小中9年間を見通し一貫した学力向上を図りたい。
- ・学力検査等の結果活用を一層進め、確かな学力の向上を図る必要がある。
- ・問題行動の発生は減少してきているが、不登校については出現率が高い傾向にある。特別支援教育の視点を大切にしながら未然防止を進めていきたい。
- ・不登校の出現率が高い学校に対しては、市町教育委員会と連携し、具体的な指導・支援をしていく必要がある。
- ・学級経営の充実を図り、いじめの未然防止に努める必要がある。

【生涯学習・社会教育】

- ・社会教育団体の活動を活性化させていくため、「子育て親育ちプログラム」等を使用した仲間づくりから始まる団体育成を支援していく必要がある。

7 収入証紙取扱額調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ
(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料
該当なし

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入

(平成24年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
雑入	雑入	非常勤講師 雇用保険料	385	295,084	295,084	0	0	会計規則運用方針 第41条関係	
		個人情報にか かる経費 (コピー、郵送 代)	1	560	0	560	個人情報保護事務 取扱要綱第8		
		計(節)	386	295,644	295,084	0	560		
目計			386	295,644	295,084	0	560		
合計			386	295,644	295,084	0	560		

(6) 現金の取扱状況
該当なし

9 収入未済額調べ

(平成24年12月31日現在)
(単位:円)

収入科目		区分		年度						現年度分			収入未済額 (A+B)	未収理由
		目	節	細節	前年度 以前からの 繰越額	左のうち 収入済額	不納 欠損額	差引収入 未済額 (A)	収入未済額の調定年度内訳			収入 未済額 (B)		
						21年度 以前	22年度	23年度	調定額	収入済額	収入未済額			
雑入	雑入		個人情報にかか る経費(コピ ー、郵送代)		560	0	560	0	0	0	0	0	560	
			計(節)		560	0	560	0	0	0	0	0	560	
		目計			560	0	560	0	0	0	0	0	560	
		合計			560	0	560	0	0	0	0	0	560	

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

収入科目			債権管理事務取扱要領の作成の有無	取り組み状況	取り組み効果
目	節	細節			
雑入	雑入	個人情報にかかる経費 (コピー、郵送代)	無	請求しなかった	回収できなかった

11 不納欠損額調べ
該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
該当なし

13 工事請負費調べ
該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産
該当なし

(2) 金券類の受払状況
ア 金券の受払状況

(平成24年12月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 496	円 50,500	円 34,390	円 16,606	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合計	496	50,500	34,390	16,606	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

(3) 債権
該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物
該当なし

(2) 物品

(平成24年12月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
知能検査 セット	1	WISC-III	平成24年6月13日 ～ 平成24年6月18日	月額・年額	0	倉吉市立 河北小学 校	倉吉市立 河北小学 校	教職員研 修	
知能検査 セット	1	WISC-III	平成24年6月26日 ～ 平成24年6月29日	月額・年額	0	倉吉市立 上灘小学 校	倉吉市立 上灘小学 校	教職員研 修	
知能検査 セット	1	WISC-III	平成24年7月30日 ～ 平成24年7月31日	月額・年額	0	倉吉市立 上灘小学 校	倉吉市立 上灘小学 校	教職員研 修	
知能検査 セット	1	WISC-III	平成24年11月19日 ～ 平成24年11月26日	月額・年額	0	倉吉市立 小鴨小学 校	倉吉市立 小鴨小学 校	教職員研 修	
合計					0				

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成24年12月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定年月日	不用とする理由	処 分			備考	
							売却 棄却の別	売却方法・棄却理由	処分年月日		売却額・処分費用
カラーインク ジェットプリンタ EPSON PM-3500C	1	H14.3.26	5年	円 47,565	H24.9.12	使用不能	棄却	売り払うことができない	H24.9.14	円 0	
デジタルカメラ ソニー P9	1	H14.7.1	5	75,600	H24.9.12	使用不能	棄却	売り払うことができない	H24.9.14	0	
デジタルカメラ ペンタックス 430	1	H14.3.26	5	61,950	H24.9.12	使用不能	棄却	売り払うことができない	H24.9.14	0	
合 計	3			185,115						0	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
該当無し

22 小中学校等への支援の状況調べ

(平成24年12月31現在)

(単位:回)

月別	保育所園		小学校		中学校		特別支援校		高等学校		合計	
	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問
4月	0	2	2	10	0	3	0	2	18	5	20	22
5月	0	2	2	62	1	27	0	1	21	6	24	98
6月	0	7	5	98	0	50	0	0	21	1	26	156
7月	0	19	8	45	3	27	0	1	12	2	23	94
8月	0	8	4	21	1	5	0	0	10	2	15	36
9月	0	8	3	36	1	16	0	0	21	3	25	63
10月	1	23	3	74	2	41	0	0	23	3	29	141
11月	0	12	5	126	4	58	0	0	27	10	36	206
12月	0	10	10	29	1	23	0	0	13	3	24	65
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	91	42	501	13	250	0	4	166	35	222	881

○ 意見・要望等
なし